



日本武尊が東征を終えて武具を蔵めたことが「武蔵」の由来。その甲冑に因んで甲籠山とも呼ばれる。

あうむ岩の少し上に見晴らしgoodな所があるよ!

山岳信仰の原初を感じさせる美しい円錐形の山容を拝す。

「不伐の地」として古来より守られてきた原生の森。狹し狭しと歩行。

境内には、ニホンオオカミを象ったブロンズ製の狛犬や北村西望作の狛犬など、さまざまな「おいぬ様」が鎮座。宝物殿には、島山重忠の奉納と伝わる国宝「赤緑威鏡」(元、大袖付)のほか、国宝「金襴輪」(元、大袖付)が収蔵され、入口前に「清康の武将島山重忠像」が立つ。(西望1981年作)

小説「吹雪」の主人公の名に因んだ「龍之介の公」のある鳥居前広場では、奉納創道大会ほかさまざまな催しが行われている。

日本一のレンゲショウマ群生地。淡い紫色の花は小さな蓮華(ハスの花)のよう。8月中旬〜9月上旬、数万株が咲き誇る。

フジ。眺望が素晴らしい。晴れた日には東京タワー、スカイツリー、筑波山も見えます。

綾広の滝。ここ滝行をする。右奥に汚れを清めるばらごころのあまのあかき祓戸乃大神を祀る。

ニホンカモシカにたびたび出合います。

七代の滝。大小8段の滝の落差は全体で50m程。見られるのは下から4段目。滝の上に天狗岩がある。

S10年、東京都緑地計画に基づいて造られた、巨岩連なる沢谷の遊歩道。別名「奥御岳溪谷」。四季折々に楽しめる木々や苔むした岩肌の緑の中を約1.5km(七代の滝〜綾広の滝)。コケの聖地として近年「コケツアー」も人気。

御岳山には150種類以上の生息している。

武蔵御嶽神社の石段のどこかに3体隠れているよ!

悪さをしないように踏みつけられているあまのじやく。まがつかみ天邪鬼(禍津神)

御岳山山頂に鎮座する武蔵御嶽神社のこと。創建は古く、千年を超える歴史があります。徳川家康公により社殿の寄進を受けた際、江戸城(現・皇居)を向く東向きに改められた。関東一円から信仰を集め、特に「盗難魔除け」の「おいぬさま」信仰が盛んです。神社正面には関東平野が広がり、眺望も抜群です!!

御師集落。武蔵御嶽神社の神職御師は関東一円の「御嶽講」の講員を訪ねて御札を西回り、御岳山に参拝に上られた講員を宿坊にてもてなしたりします。現在20軒以上の宿坊があり、一般の宿泊客も広く受け入れています。

江戸初期に整備されたといわれる参道の杉並木(中天然記念物)には「プレート」が1〜1787まで付いており、道標にはそれぞれ由緒ある呼び名がつけられています。

緑色の武蔵号と赤色の御嶽号は1本のケーブル(鋼索)で繋がっているのだ。出発して約3分後には中間点で必ずお水替いします。楽しみ〜!!

重用区間で自動車の通行が不能なのは都内でここだけ!! 国内でも珍しい。

御岳山から見て日の出の方向にあるのが名前の由来。

〈ご注意〉 このマップは部分的に縮小拡大してあります。

※実際に登山をする際には、国土地理院発行の地形図など、より詳細な地図をお持ちください。

作画 マノアヤコ(ムササビ忍者マップ工房)

印刷 株式会社タマプリント(青梅市)

青梅市観光協会 2026.2.15 (掲載の情報は2026年1月現在のものです) ※この事業は、「(公財)東京観光財団 地域振興助成事業助成金」を活用して実施しています。